

# Fairy TopIX 2016 候補作一覧

## ※推理将棋・プルーフゲーム部門(短編) 候補作一覧

---

推1～推26	詰将棋メモ 出題	P2～P18
推27～推28	WFP作品展	P19～P20

候補作は全28作。2016年にネット上に掲載された作品となります。目次の通り掲載年月日順ではなく、発表場所別に分類しております。

(注) 詰将棋メモ108回出題、109回出題は解答がまだ発表されていないので次年度に繰越とします、

## 推1 2016/1 NAO作

1筋の香 11手

「さっきの勝負どうだった？正月らしく派手に駒が成った7手目に駒が成ったそうだけど」

「11手目に1筋に香の手を指して詰ませて勝ったよ」

「おめでとう。2016年の指し初めにふさわしい一局だね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

そして2016年、貴方の勝負手は？

<詰将棋メモ 第98回出題 第1番>

▲7六歩 △4二玉 ▲3三角不成 △3二玉 ▲2二角不成 △2四歩▲1  
一角成 △2三玉 ▲3四角 △1四玉 ▲1六香 まで11手

正解者：23名

## 推2 2016/2 渡辺秀行作

45まで 9手

「昨日9手目に45へ着手して詰めたんだってね」

「うん、『1段目へ成る着手に歩で応じた手は面白い』って先生が言っていたよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第99回出題 第1番>

▲7六歩 △3四歩 ▲2二角不成 △6二玉 ▲3一角成 △6四歩 ▲5  
三馬 △7二玉 ▲4五角 まで9手 正解者：23名

### 推3 2016/2 Pontamon作

九九が3組 9手

「九九をテーマにした作品を作ったんだって？」  
「そうだよ、ゾロ目ついでに9手詰だよ」  
「どんな問題なの？」  
「2種類の駒の5手で、九九の着手が3組あるんだ」  
「ちょっと待った、3組なら6手だろ」  
「九九なんだから、同じ答えの九九だってあるだろ」  
「なるほど、それも考えないといけないんだな。他の条件は？」  
「他の条件は無いよ」

<詰将棋メモ 第99回出題 第2番>

▲7六歩 △3四歩 ▲2二角成 △4二飛 ▲2三馬 △1二飛 ▲1四角  
△6二飛 ▲4一馬 まで9手 正解者：20名

### 推4 2016/2 DD++作

鞍上人なく鞍下馬なし 9手

「や、これは、たった9手で詰められてしまった」  
「馬をかなり活用できたからね」  
「というと、やはり7手目かい」  
「そうだね、金頭に馬がいるのに違和感があって、1筋方向へ移動させたら随分よくなった」  
「こっちは着手が2つの段に分かれたのがよくなかったかね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第99回出題 第3番>

▲7六歩 △3二飛 ▲3三角成 △4二金 ▲4三馬 △3四飛 ▲同  
馬 △7二金 ▲6一飛 まで9手 正解者：20名

## 推5 2016/3 渡辺秀行作

### 53駒成の謎 10手

「昨日の将棋10手目に詰んで終わったんだって？」

「6手目以降に53に駒を成る王手を見たんだけど、謎な手だよなあ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第100回出題 第1番>

▲7六歩 △5二飛 ▲3三角不成 △6二玉 ▲4二角不成 △6六角 ▲5  
三角成 △同 飛 ▲5八玉 △5七飛成 まで10手 正解者：18名

## 推6 2016/3 渡辺秀行作

### 4回目の王手 10手

「王手、王手、…」

「4回目の王手は68に銀だよ」

「10手で詰んだね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第100回出題 第2番>

▲5八金左 △3四歩 ▲4八金寄 △7七角不成 ▲6八銀 △同角不成 ▲5  
八玉 △5七角成 ▲5九玉 △6八銀 まで10手 正解者：18名

## 推7 2016/4 渡辺秀行作

75飛まで 10手

「どうだ！10手目この75飛で詰みだ」

「参りました」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第101回出題 第1番>

▲6八飛 △3四歩 ▲5八玉 △7七角不成 ▲6六歩 △7四歩 ▲6七  
玉 △6八角成 ▲7六玉 △7五飛 まで10手 正解者：24名

## 推8 2016/4 渡辺秀行作

念には念を 10手

「9手目相手の飛を取っても良かったんだけどね。念には念を入れて、36歩と指してさらにその飛に取りをかけたんだよ」

「そんな悠長なことしているから10手目に詰まされるんだよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第101回出題 第2番>

▲7六歩 △4四歩 ▲同 角 △4二飛 ▲2六角 △4七飛不成 ▲4  
八金 △同飛不成 ▲3六歩 △4九金 まで10手 正解者：23名

## 推9 2016/4 NAO作

### ダンシングクイーン 10手

「70年代の洋楽がBGMとは懐かしいね。将棋の調子はどうだい？」

「おかげさまで右へ左へ軽やかなステップを踏んで10手で詰ませたよ。隣り合う2つの筋をA、Bとすると着手した筋は『ABBA、ABBA、AB』の順番だったんだ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第101回出題 第3番>

▲7六歩 △6四歩 ▲6八玉 △7二金 ▲7七玉 △6三金 ▲6六玉  
△7四金 ▲7七角 △6五金 まで10手

正解者：23名

## 推10 2016/5 Pontamon作

### 2つのフナリ 10手

「10手で詰んだ対局で歩成が2回あったと聞いたけど、本当？」

「歩成りが2回じゃなくて、不成と同歩成の着手があったんだよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第102回出題 第1番>

▲6八玉 △8四歩 ▲7八玉 △8五歩 ▲6八銀 △8六歩 ▲7九角  
△8七歩不成 ▲8八角 △同歩成 まで10手 正解者：23名

## 推11 2016/5 上谷直希作

### 最遠移動 10手

「10手で勝つたらしいね。どんな対局だったの？」

「最後は最遠移動で詰ませたよ。あとは、成駒を連続で動かす手順が双方にあったなあ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第102回出題 第2番>

▲7六歩 △3二飛 ▲3三角成 △4二銀 ▲7七馬 △3七飛成 ▲6八馬  
△3一龍 ▲5八金右 △3九龍 まで10手 正解者：23名

## 推12 2016/5 金少桂作

### 不当な関係 10手

「隣の10手で詰んだ将棋、歩頭への着手がやたらと目立っていたね」

「数えてみたら、“先手の歩頭”への着手が3回、“後手の歩頭”への着手も3回あったよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第102回出題 第3番>

▲7六歩 △6四歩 ▲4四角 △6五歩 ▲6六角 △同歩 ▲6八玉  
△5六角 ▲5九金右 △6七角成 まで10手 正解者：22名

## 推13 2016/6 渡辺秀行作

### 54の駒を取る 9手

「昨日の将棋31への駒成に54の駒を取って応じているのを見たけどどうなった？」  
「9手で詰んだよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

〈詰将棋メモ 第103回出題 第1番〉

▲7六歩 △3四歩 ▲2二角不成 △5二玉 ▲5四角 △5一金左 ▲3一角  
成 △5四歩 ▲5三銀 まで9手 正解者：19名

## 推14 2016/6 Pontamon作

### とどめは3段目の初王手 10手

「さっきの対局は、やけに早く終わったようだね」  
「初王手が3段目の手だったけど、それで仕留めたよ」  
「となると7手か9手かな？」  
「いいや、後手番だったから10手もかかっちゃった」  
「それじゃ、駒打ちまでだね？」  
「いいや、とどめは駒を動かす手さ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

〈詰将棋メモ 第103回出題 第2番〉

▲6八玉 △3四歩 ▲7八玉 △7七角不成 ▲8六歩 △3三角成 ▲8七玉  
△4四歩 ▲9八玉 △4三馬 まで10手 正解者：16名

## 推15 2016/6 チャンプ作（修正）

### 美野樫9兄妹の1局(その11)

14手

健一「隆二に負けず劣らず七海もやるじゃねえーか」  
七海「わたくしは何も・・・隆二さんのおかげです・・・」  
四郎「その謙虚なところが七海らしいね」  
健一「さぁみんな、このまま突き進もうぜ」  
隆二「ああ、最初から優勝しか考えてないからな」  
八重「九美、決戦に備えて少し稽古をしましょうか」  
九美「かしこまりいー！じゃあ次はウチ達お休みねえー」  
健一「ん・・・？なんだか浮かない表情だな源三」  
源三「いやいや、みんな気合入っとるなー思うてな」  
六実「源ちゃん、次は私と一緒にやってみよ～よ～」  
圭五「おー？また新たなゴールデンコンビの結成かー？」  
源三「わしなんかとでホンマにエエんか？」  
六実「ちょうど指したくてウズウズしてたところよ～」  
隆二「じゃ、二人に任せたぜ」  
六実「私たちの後手よ～」  
源三「(わしだけいつまでもこんなんやアカンな)」  
源三「おっしゃ行くで六実」  
六実「任せて～」  
・・・対局開始・・・  
健一「おー、豪快に仕留めたみたいだぜ」  
源三「スマンスマン、勝つのに14手も掛かってもうわ」  
源三「成る手あれへんかったんが原因やろか」  
六実「それでも二人交互に指しての大勝利よ～」  
源三「今思えば、わしと六実1回ずつ同じ段へ駒打ったんやな」  
源三「そや、11手目の▲28銀は問題やったんとちゃうか？」  
六実「私たちの迫力に圧されたって感じ～？」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第103回出題 第3番>

▲7六歩 △6二飛 ▲3三角不成 △同 角 ▲6六歩 △同 角 ▲6八飛 △  
3三角 ▲6三飛不成 △同 飛 ▲2八銀 △3九角 ▲5八金左 △6九飛打  
まで14手 正解者：17名

## 推16 2016/7 Pontamon作

87銀まで 10手

「この87銀で詰みだね」

「ありゃ、10手で負けちゃった」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第104回出題 第1番>

▲6八玉 △3四歩 ▲7八玉 △7七角不成 ▲6八銀 △同角不成 ▲8六歩  
△同角成 ▲7九角 △8七銀 まで10手 正解者：23名

## 推17 2016/7 ほとと作

香龍会300回記念対局 13手

「記念対局を指したんだって？」

「そうそう、僕が先手なんだけど、途中で、僕の香のすぐ下に龍が居る局面が出現したよ。つまり、先手から見てこんな配置だね」

「へえ、珍しい形だね」

「それがさあ、その直後に後手は龍頭の香を取る手を指してきたんだよ。

せっかくの配置を崩すなんて、呆れたよ。まあ、13手目で詰まして勝ったけどね」

「勝ったならいいじゃん。で、盤上に龍があるということは、成る手を指したんだね」

「うん、飛車を3マス移動させて成ったよ。飛成以外の成る手は、先手が0回、後手も0回だった」

「今、ゼロを無理矢理2回使ったね……」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第104回出題 第2番>

▲7六歩 △4二飛 ▲3三角不成 △5二玉 ▲4二角不成 △9九角不成  
▲3六飛 △3三香 ▲同飛成 △4四歩 ▲3二香 △同銀 ▲5三龍 まで13手 正解者：17名

## 推18 2016/7 チャンプ作（修正）

美野樫9兄妹の1局(その12)

14手

健一「ようやく源三もエンジン全開ってとこだな」

四郎「六実のお陰だね」

源三「スマンかったな六実、氣い遣わせてもうて」

六実「ん～？なんのこと～？」

隆二「やれやれ・・・(どうやら買い被り過ぎのようだぜ)」

八重「九美、戦の支度はよろしくて？」

九美「いつでも行けるよぉー」

健一「お、それなら隆二俺たちも一緒にどうだ？」

隆二「兄貴に誘われちゃ断れないな」

圭五「よっしゃー！サイド攻撃で崩してオレのヘディングが炸裂って、おーい！」

七海「4人で行ってしまわれました・・・」

九美「ウチ達の後手だよぉー」

・・・対局開始・・・

圭五「ストライカー不在で誰がシュート決めるんだよー！」

四郎「ははは、でも心配いらなかったみたいだよ？」

隆二「ちゃんと14手で詰ましておいたぜ」

八重「ま、熱い方がいなくとも快勝ですわ」

健一「そーいや全員、成も不成も付かない桂の手を指してたよな？」

九美「駒を取る手が3回もあったけどお、3回とも桂で取る手だったねえー」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第104回出題 第3番>

▲9六歩 △1四歩 ▲9七角 △1三桂 ▲9八飛 △2五桂 ▲6八玉  
△1七桂不成 ▲7八玉 △2九桂成 ▲8八玉 △8四桂 ▲7八金 △9六  
桂 まで14手 正解者：17名

推19 2016/8 渡辺秀行作

自陣駒の活躍 11手

「おお、13に駒が動いて11手までの詰みか」

「その駒はもともと自陣にあった駒だよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第105回出題 第1番>

▲7六歩 △4二玉 ▲3三角不成 △3二玉 ▲2二角不成 △3三桂 ▲4二角 △2一玉 ▲3一角左成 △1二玉 ▲1三角成 まで11手 正解者：20名

## 推20 2016/8 チャンプ作

### 美野樞9兄妹の1局(その12) 12手

丸美「やっぱり八重ねえと一緒に勝てるねえー」

八重「さっきのは兄上方の手柄よ」

健一「おっ、嬉しいこと言ってくれるじゃねえか」

圭五「準決勝進出！もう優勝間違いなしだぜー」

八重「油断は禁物よ」

源三「そやで、すぐ調子に乗るんが圭五の悪いとこや」

隆二「ところで次は誰が行くんだい？」

七海「えーと・・・四郎さんに任せてみては如何でしょう？」

四郎「え？僕はいいから、誰かやってきなよ」

丸美「うちも、おにいのカッコイイとこ見てみたいなあー？」

四郎「丸美まで・・・」

健一「こりゃもうやるしかないんじゃねえか？」

四郎「・・・わかったよ」

健一「分析してみたいだな、何かいい作戦はあったか？」

四郎「そうだね、この形は応用できるかも」

四郎「僕の後手か、ここまできて負ける訳にはいかないな」

隆二「随分あっさり終わったらしいぜ」

四郎「よかったー、予定通り12手で勝てたや」

四郎「駒を成る手も打つ手も無かったね」

六実「え～？せっかく主役なのに、たったそれだけ～？」

隆二「相変わらず控え目な奴だな」

七海「六実さんも見習っては如何かと・・・」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第105回出題 第2番>

▲7六歩 △4二飛 ▲3三角不成 △4四歩 ▲同角不成 △同飛 ▲6八玉  
△4七飛不成 ▲7八玉 △4四飛不成 ▲8八玉 △4八飛不成 まで12手  
正解者：20名

## 推21 2016/8 はなさかしろう作（修正）

### モチヅキ・ナナと一途な後輩 15手

「部長さん！ 見てください。ナナ先輩に一局教えていただきました！！」

「モチヅキと指したの？良かったねえ。君は後手番で、15手で詰まされちゃったか」

「ナナ先輩といえば15と7ですよ。7筋でぐいぐい来られて、1回我慢できなくて」

「たしかに、同の手もなく、7筋以外への着手は君が1回指しただけだね。それから君、モチヅキが指したばかりの場所の2マス手前に5回も指しているけど」

「はい、ナナ先輩にできるだけついて行こうと思って。一緒に棋譜が作れて感激です！」

「おやおや。天にも昇る様子だねえ。足許に気をつけるんだよ」

<詰将棋メモ 第105回出題 第3番>

▲7六歩 △7四歩 ▲7五歩 △7三桂 ▲7四歩 △7二飛 ▲7三歩不成 △6二玉 ▲7二歩不成 △7三玉 ▲7六桂 △7四玉 ▲7七桂 △7五玉 ▲7三飛 まで15手 正解者：19名

## 推22 2016/9 NAO作

### 43金の後は？ 9手×2

A「たったの9手で負けちゃった。2手目に3筋の手を指した序盤が失敗で、43金が奇妙な一手だった」

B「僕も2手目3筋の手を指して9手で負かされた。43金の一手もあったから君の対局と全く同じ手順かもしれないね。終盤はどうだったの？」

A「平凡な収束だったけど、43金より後、成った手が印象に残ってるよ」

B「なるほど。僕の対局は、43金より後、4筋への金の手が勝負を分けたね」

さて、二人が負けた対局とはどんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第106回出題 第1番>

A：▲4六歩 △3二金 ▲4五歩 △4四歩 ▲同歩 △4三金 ▲同歩成 △7二金 ▲5二金 まで9手  
B：▲7六歩 △3二金 ▲3三角成 △4二銀 ▲3二馬 △4四歩 ▲4三金 △6二銀 ▲4二金 まで9手  
正解者：19名

推23 2016/9 Pontamon作

後手の着手を大公開 11手

「11手で詰めたんだって？」

「とどめは不成だったんだ」

「どんな将棋だったの？」

「後手は、香、銀、金、角、飛の順で指していたよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第106回出題 第2番>

▲2六歩 △1二香 ▲2五歩 △3二銀 ▲2四歩 △5二金左 ▲2三歩成 △1一角 ▲3二と △6二飛 ▲2一飛不成 まで11手 正解者：19名

## 推24 2016/9 チャンプ作

### 美野樞9兄妹の1局(その12) 13手

健一「さすがに四郎は無駄がないな」  
四郎「詰み形の分析をしてたら偶然思い付いただけだよ」  
七海「・・・その謙虚なところが四郎さんらしいですわ」  
源三「いよいよ決勝やな、ここまで来たら優勝するで」  
隆二「でもまあ最後は兄貴に任せるぜ」  
健一「ん？お前たちはいいのか？」  
八重「各々方、御館様のご出陣よ」  
九美「みんなで応援してるからねえー」  
七海「陰ながらお祈りしてます」  
六実「健ちゃんファイト〜！」  
圭五「兄貴、みんなで優勝カップ掲げようぜー」  
健一「粋なこと言ってくれるじゃねえか・・・よし、俺に任せろ！」  
七海「そろそろ始まる模様です」  
六実「最後ぐらいみんなで見に行こ〜」  
健一「俺の先手だな、さあ行くぜー」  
・・・対局開始・・・  
四郎「見てるだけとはいえ緊張するね」  
源三「相手さん3筋の着手が多いんとちゃうか？」  
七海「・・・察するに今の着手で4回目かと」  
八重「あと不成の手がないわね」  
隆二「小細工は不要ってとこだろな」  
圭五「それにしても互いに一度走り終えた駒は動かねーな」  
九美「でもなーんか健にいのペースって感じだよおー？」  
六実「あ、健ちゃんが13手で勝ったわ〜！」  
一同「(歓喜)」  
健一「お前たちの応援のおかげだな、ありがとよ」  
健一「さあ、表彰式が始まるみたいだぜ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第106回出題 第3番>

▲1六歩 △3四歩 ▲1五歩 △3五歩 ▲1四歩 △4二玉 ▲1三歩成  
△3三玉 ▲1八飛 △3四玉 ▲1四飛 △2五玉 ▲1七桂 まで13手  
正解者：19名

## 推25 2016/10 はなさかしろう作

### 7322 7手×2

「7322? 暗証番号にしては扱いが不用心だね。ああ、Eテレの夜中の番組か」

「それは2355だろ。7322はさっきパズル同好会の二人が指した将棋のメモさ」

「ああ、遊びに来てたね。一勝一敗とか言って、あっという間に帰ったけど」

「どちらも7手で詰んだからね。それから、32への着手があったのも共通している」

「ということは、最後の2は手順が二通りの2か。ところでこれってパズルなの？」

「さあねえ。二人に聞いたら逆に、どう思う? って聞き返されたよ。なんでも、パズルというのは結局のところ、面白いかどうかが一番なんだって」

さて、どんな将棋だったのでしょ? 手順を二通り教えてください。

<詰将棋メモ 第107回出題 第1番>

解1:

▲2六歩 △4二玉 ▲2五歩 △3二玉 ▲2四歩 △4二飛 ▲2三步成 まで7手

解2:

▲7六歩 △5二玉 ▲3三角不成 △5一金左 ▲同角不成 △3二銀 ▲4二金 まで7手

正解者: 23名

## 推26 2016/10 NAO作

### 双子の対局 9手×2

「二人の勝負、仲良く一勝一敗だったって？」

「2局とも9手で詰ませて先手番が勝ったよ。不思議なことに2局とも不成の手と54桂の手があったんだ」

「さすが双子同士の対局だね。全く同じ手順だったってこと？」

「いいや、手順は異なる別の将棋だったよ」

さて、どんな将棋だったのでしょ？ 手順を二通り答えてください。

<詰将棋メモ 第107回出題 第2番>

▲7六歩 △3四歩 ▲2二角不成 △3三桂 ▲同 角成 △5二玉 ▲5四桂  
△4四歩 ▲4三角 まで9手

▲7六歩 △7四歩 ▲5五角 △7三桂 ▲同 角不成 △6二金 ▲5四桂  
△7二銀 ▲6二角成 まで9手

正解者：23名

## 推27 2016/10 Pontamon作

### 100回記念第一局 8手

「おねがいします（パチ）」

「（パチ）WFP100回記念の作品を募集しているらしいね」

「（パチ）100に関係するテーマがあれば出品しようかと思っているんだけど」

「（パチ）じゃ、フェアリーらしく何か特別ルールを考えてみたらどう」

「（パチ）これまで推理将棋一筋だし、フェアリーは難しくて手が出ないよ」

「（パチ）じゃ、後手は直前の先手が着手した升の数字と足したら100になる地点の着手を続けるという着手制限はどう」

「（パチ）それ、いいかも。でも詰みまで行けるのかな」

「（パチ）この8手目で詰んだね」

「しまった、対局に集中してなかった。なんで98飛なんかを指したんだろう」

「きっと、100を考えていたからだね。だって全着手地点の筋と段の数字16個を足したら100になっているよ」

<100号記念1人1作作品展 9>

76歩 34歩 66角 同角 98飛 68角 58玉 57角上成 まで8手  
正解者：3名

## 推28 2016/10 Pontamon作

### 100回記念第二局

「試しに、さっき言っていたWFP100回記念の着手制限ルールで指してみようか」

「わかった、僕は君が指した枰の2桁の数字と足したら100になる枰へ指すよ」

「勝つも負けるも僕の着手次第ってことだね」

(終局)

「着手制限でもどうにか詰みまで行けたね」

「振り返ってみると、先手は着手をやめた駒を二度と動かさなかったね」

「あと、9段目の駒を動かしたのに終局時には9段目の駒は初期配置と同じになっていたね」

<100号記念1人1作作品展 9 >

58飛 42銀 48金 52玉 49金 51銀 56歩 44歩 55歩 45歩 54歩 46歩 53歩成 まで13手 正解者：2名
--